

挑戦の歴史

挑戦のはじまり



図書係発足。
図書係は私たちが入学した年に発足し、今年度で活動が2年目となる委員会です。新しい試みゆえに前例はなく、手探りの毎日でした。

想いの強さ。
しかし、私たちには想いがありました。本の魅力を伝えたい、本に触れる機会を増やしたい。何もわからなくても、その想いだけは持ち続けていました。

すべては計画書から！



読み語いの育んで

本を身近なものにしたい

本を通じて心を豊かにしてほしい

想いを形に。

そんな私たちの想いを形にしたのが「計画書」です。今後、どんな活動をしていくのかを話し合い、入学してまもない学生たちで1から作り上げました。これは先生から指示を与えられるのではなく、学生たちが図書係をつくっていくという大きな挑戦であり、はじめての挑戦でした。

想いの差を乗り越えて

学生全員を巻き込みたい

読書の輪を広げたい

本好きな子どもを育ててほしい

知ったい

読書習慣を作りたい

多忙な短大の毎日。

想いの大きさに比例して図書係の活動量は豊富でした。2年間で教員免許をはじめとした複数の免許取得を目指す学生にとって、図書係の活動は負担の大きなものでした。活動をしたくても集まることができず辛酸を嘗めたことは1度や2度のことではありません。

気持ちを一つに。
学生の中には想いの差がみられるようになりました。活動に積極的に参加してくれる人、そうでない人が分かれはじめ、気持ちを一つにすることにいつも苦勞をしていました。



想

たゆまぬ挑戦。

様々な困難がありました。私たちは挑戦をとやめませんでした。辛抱強く学生の理解を求め、さらに活動の幅を広げていきました。本の魅力を伝えたい。その想いを胸に挑戦を続け、来館者数の増加など数値で結果を残すことができています。これからも挑戦し続けていきます。



不易流行。
私たち2年生は活動を開始し、様々なことに挑戦してきました。それはまさに怒涛の毎日でした。挑戦の多さの分課題も多く残っています。これからの図書係を担う1年生には課題を改善するとともに、新たな挑戦をしていき、図書係を変えていって欲しいと思います。しかし、私たちが大事にしてきた想い、これだけは変えず、ずっと受け継いでいって欲しいと思います。

想いをつなぐ

次の世代へ！

